



千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 「保育」の学びの導入について



卒業までに、週7時間分の「保育」科目が選択できます



千葉県立鎌ヶ谷西高等学校では、生徒の進路希望、地域・社会の要請をふまえ、平成30年度より、選択科目として「保育」の学びを導入しました。

第2学年の学校設定科目「保育基礎」を選択した後、第3学年で「子どもの発達と保育」と「子ども文化」を学習することができます。

科目の概要（「科目選択の手引き」より・1科目だけの選択はできません）

保育基礎（第2学年・週2時間） 学校設定科目：本校にしかない独自の科目です

- ・子どもの発達の特性とその過程、子どもの生活と保育、子どもの遊びと表現活動、子どもの触れ合いと保育環境などについて、保育の基礎を学びます。
- ・全国高等学校家庭科保育技術検定の4分野、「言語技術表現」「造形表現技術」「音楽・リズム表現技術」「家庭看護技術」の4級を受験し、合格をめざします。

子どもの発達と保育（第3学年・週3時間）／子ども文化（第3学年・週2時間）

- ・より専門的な視点から、子どもの発達の特性とその過程、子どもの生活、福祉、子どもの遊び、表現活動（造形、絵画、言語表現、歌、踊り、演奏）、文学などについて学びます。
- ・全国高等学校家庭科保育技術検定の4分野「言語技術表現」「造形表現技術」「音楽・リズム表現技術」「家庭看護技術」3級の合格をめざし（1学期）、2級にも挑戦します（2学期）。
- ・保育士、幼稚園教諭の資格を取得できる大学、短期大学、専門学校への進学をめざします。将来「子ども」に関わる仕事に就きたい人は、ぜひ選択して下さい。



- ・聖徳大学と高大連携協定を結び、大学教員による出張授業を実施しています。

- ・市内保育園との協力により、「1日保育実習」を実施します。



- ・3科目とも実習の材料費、技術検定受験料が必要になります。

